

## ○ 旭小学校

- ・ 職員自己評価の結果と分析について
- ・ 保護者、児童アンケートの結果と分析について
- ・ 学校関係者評価について

平成29年度

# 学 校 評 価

—結果分析と改善に向けて—



平成30年 3 月  
美幌町立旭小学校



— 目 次 —

- I 職員自己評価の結果と分析について
- II 保護者・児童アンケートの結果と分析について
- III 学校関係者評価について

# Ⅰ 職員自己評価の結果と分析について

| 職員評価(自己評価)の結果について                         |                                                 |      |      |      |      |      |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------|------|------|------|------|------|
| 1 教育課程の編成と実施に関すること ※数値は、100点満点中何点かを表しています |                                                 |      |      |      |      |      |
| 領 域                                       | 評価項目                                            | 29年度 | 28年度 | 27年度 | 26年度 | 25年度 |
| ○学校の教育目標                                  | 1 ○学校の教育目標を児童に理解させ、児童もめあてをもって取り組ませる。            | 72.4 | 70.8 | 67.6 | 61.1 | 70.8 |
|                                           | 2 ○学校の教育目標と関連させた学級目標を設定し、学校の教育目標実現に努める。         | 77.6 | 77.0 | 70.3 | 73.4 | 69.1 |
| ○学習指導                                     | 3 ○各教科の指導計画に基づいて指導を行う。                          | 81.3 | 85.4 | 77.8 | 76.3 | 76.4 |
|                                           | 4 ○指導方法の工夫を日常的に取り組む。(問題解決的学習・体験学習 ・地域素材活用・TT 等) | 81.3 | 85.4 | 73.6 | 77.8 | 75.0 |
|                                           | 5 ○教材・教具の有効活用を図る。                               | 81.3 | 80.4 | 76.5 | 69.4 | 76.4 |
|                                           | 6 ○教育施設、設備や外部講師を計画的に活用する。                       | 86.3 | 84.1 | 77.9 | 83.3 | 80.9 |
|                                           | 7 ○基礎的・基本的事項の習得に努める。                            | 83.8 | 81.8 | 75.0 | 80.3 | 76.5 |
|                                           | 8 ○学ぶことの楽しさを味あわせる授業を展開する。                       | 76.3 | 75.0 | 68.1 | 69.4 | 67.6 |
|                                           | 9 ○指導と評価の一体化を図る。                                | 75.0 | 72.8 | 66.7 | 75.0 | 69.1 |
| ○道徳指導                                     | 10 ○指導計画に基づき「道徳の時間」を進める。                        | 78.9 | 75.0 | 77.9 | 76.6 | 76.6 |
|                                           | 11 ○道徳実践意欲を高めることを目指して、あらゆる機会を通して指導する。           | 77.6 | 76.1 | 69.1 | 77.8 | 75.0 |
|                                           | 12 ○家庭や地域と連携した指導を目指し、道徳の授業を進める。                 | 78.9 | 67.9 | 70.6 | 68.8 | 76.6 |
| ○学級活動                                     | 13 ○児童の実態に応じた計画的な学級活動を展開する。                     | 81.9 | 77.3 | 73.5 | 73.4 | 75.0 |
| ○児童会活動                                    | 14 ○児童会活動が自発的、自治的に進められるよう指導し、学校生活を充実させる。        | 80.6 | 75.0 | 69.4 | 68.8 | 73.6 |
| ○クラブ活動                                    | 15 ○児童の興味や関心を生かした活動を展開する。                       | 81.6 | 81.5 | 75.0 | 75.0 | 77.8 |
| ○総合的な学習の時間                                | 16 ○生きる力を育成するための総合的な学習の時間の指導・評価を適切に行う。          | 82.4 | 82.1 | 78.1 | 75.0 | 77.5 |
| ○授業時数                                     | 17 ○各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の授業時数は適切に確保する。         | 90.8 | 92.4 | 88.2 | 89.5 | 83.8 |
| ○生活指導                                     | 18 ○いろいろなきまりが守られ、落ち着いた態度で生活できるようにさせる。           | 82.5 | 78.3 | 69.4 | 70.0 | 63.9 |
|                                           | 19 ○共感的理解を基にして、個に応じた指導や支援を進める。                  | 85.0 | 79.3 | 72.4 | 75.0 | 76.4 |
|                                           | 20 ○問題行動や生徒指導上の課題・各学級の問題について、共通理解を図り全職員で指導にあたる。 | 86.8 | 84.8 | 81.9 | 75.0 | 70.8 |
|                                           | 21 ○家庭との連携を大切にして、協力しあいながら生活指導を進める。              | 85.5 | 85.9 | 79.4 | 77.6 | 79.4 |
|                                           | 22 ○学校の教育目標や経営方針との関連を図りながら学校行事を実施する。            | 84.2 | 83.7 | 76.4 | 78.9 | 76.4 |
| ○学校行事                                     | 23 ○学校行事の実施に当たっては、学校や地域の実態児童の願いが生かされる、よう配慮する。   | 82.9 | 83.7 | 76.5 | 76.3 | 75.0 |
|                                           | 24 ○児童が意欲的に体力づくりに取り組むように配慮している。                 | 82.5 | 81.5 | 73.5 | 72.2 | 69.1 |
| ○健康・安全                                    | 25 ○年間計画に基づいて、健康安全の日常化・習慣化に取り組む。                | 80.0 | 80.4 | 73.5 | 72.4 | 72.1 |
|                                           | 26 ○給食時のマナーや偏食指導を適切に行う。                         | 77.6 | 82.6 | 76.5 | 80.6 | 75.0 |
| 2 教育課程の編成と実施を支える諸条件に関すること                 |                                                 |      |      |      |      |      |
| 領 域                                       | 評価項目                                            | 29年度 | 28年度 | 27年度 | 26年度 | 25年度 |
| ○経営方針                                     | 27 ○経営方針を明確にして、共通理解を図っていく。                      | 83.8 | 79.3 | 75.0 | 73.7 | 76.4 |
| ○校務分掌                                     | 28 ○業務の円滑な遂行を目指し、校務分掌の構造を適切にする。                 | 81.3 | 84.8 | 76.3 | 77.6 | 73.5 |
|                                           | 29 ○業務の円滑な遂行を目指し、校務分掌の業務内容を適切にする。               | 81.3 | 80.4 | 75.0 | 75.0 | 75.0 |
|                                           | 30 ○業務の遂行にあたって、職員相互の協力・連携を図る。                   | 89.3 | 85.9 | 82.9 | 81.3 | 79.2 |
| ○学級経営                                     | 31 ○学級における人間関係を重視し、児童一人ひとりを理解しながら経営を進める。        | 80.3 | 86.4 | 77.9 | 80.6 | 78.1 |
|                                           | 32 ○教室の環境が、学習・生活の場にふさわしい設営を行う。                  | 78.9 | 81.8 | 73.4 | 76.3 | 76.5 |
| ○職員会議                                     | 33 ○職員会議の運営や資料の提供を適切に行う。                        | 87.5 | 87.0 | 84.2 | 82.5 | 77.8 |
| ○研 修                                      | 34 ○校内研修活動を組織的・ 計画的に進める。                        | 83.8 | 87.0 | 72.4 | 72.4 | 79.2 |
|                                           | 35 ○各種研究会・研修会へ積極的に参加する。                         | 82.5 | 78.3 | 75.0 | 75.0 | 75.0 |
| ○備品・施設・設備                                 | 36 ○校舎内外のきれいに清掃する。                              | 73.8 | 71.4 | 68.4 | 66.3 | 73.6 |
|                                           | 37 ○花壇・教材園・ハウスの管理を適切に行う。                        | 84.2 | 76.1 | 75.0 | 78.8 | 70.8 |
|                                           | 38 ○備品・教材等の後始末を正しく行う。                           | 73.8 | 77.3 | 72.4 | 77.5 | 68.1 |
| ○事務処理                                     | 39 ○事務用品・機器を適切に扱い、無駄なく活用する。                     | 83.8 | 83.3 | 84.2 | 76.3 | 76.5 |
|                                           | 40 ○事務処理を適切に行う。                                 | 86.3 | 88.6 | 89.7 | 88.2 | 88.2 |
| ○家庭・地域との連携                                | 41 ○各種通信や行事等を通して、保護者や地域との連携を図る。                 | 82.5 | 83.0 | 82.4 | 76.3 | 76.4 |
|                                           | 42 ○PTA活動や地域活動に積極的に参加して、協力して活動する。               | 78.8 | 75.0 | 76.5 | 72.4 | 70.8 |

## 教職員評価 成果と課題(○成果 ●改善)

### (1) 教育課程の編成と実施に関すること

ア学校の教育目標設定について

以下の流れにより目標を設定する

学校教育目標⇒低、中、高の目標⇒学年目標⇒学級目標⇒個人目標

イ学習指導について

○以下の点について学習指導方法の工夫改善を図れた点が成果である。

①児童の理解度に応じた学習（ＴＴ、少人数）の充実

②習熟度別両教室での情報交換、共通実践

③ICT 機器の活用推進（拡大投影機、タブレット等）

●学ぶ楽しさのある授業づくりを進める上で、以下の点を課題とする。

①体験、地域素材活用の充実

活用度が少ない学年は次年度指導計画修正・改善する

②国語（言語活動）、算数（算数的活動）の充実

算数教具の充実と活用を図る。研修活動の更なる充実を図る

③指導と評価の一体化

指導して終わりにしない授業。指導内容に対する評価をして終える授業を行う

⇒自己肯定感の増大、学ぶ楽しさに帰結

ウ特別な教科道徳の指導計画、研修を充実させる

●特別な教科「道徳」の共通理解、準備・計画が新学習指導要領全面実施に先駆けて必要となる。

研修や道徳推進Ｔが中心になり推進する。

エ個に応じた生活指導を行えたことが成果である

○共通理解をもって、生徒指導を実施できた。

①月例サポート会議を実施して、児童の支援策について密な連携をとることができた

②日々、職員室で声を掛け合い、複数の目で指導にあたることができた

オ学校行事について

○集団への所属感、達成感を醸成することができた。有意義な取り組みができている。

協力してよりよい生活をつくろうとする態度の育成にもつながっている

●今後の時数増、学力向上等を考えると、行事のスリム化、効率化を継続検討する

カ食育の充実

●偏食や給食時マナーの指導をより充実させ、生涯を健全に生きる素地の育成を図る

### (2) 教育課程の編成と実施を支える諸条件に関すること

ア校務分掌体制について

●分掌構造、業務内容の見直し、改善を図る

①分掌業務を見直し、より組織的な体制整備を図る

②分掌内業務の仕事量を見直し、適正化を図る

イ学級経営について

●ソーシャルスキル指導の充実、教育目標達成のため意図的計画的な学級経営に努める。学年 1

学級による規模拡大に対応する学級経営がより求められる

- 研修成果を生かし、ユニバーサルデザインに基づく教室環境づくりを全学級で取組む。児童が学習に集中しやすい環境づくりを推進する

#### ウ 研修について

- 校内研修、公開研等による授業実践交流を推進できた。来年度も、授業を見てもらう、授業を見る機会を充実させ、指導力の向上に努める
- 各種研究会に積極的に参加できた。本校で行った網社研、オホーツク管内特支研究会等の研究会に校内職員で参加し、研修することもできた。研究者、優れた実践者に触れる研修活動を来年度も推進する

#### エ 備品、施設、設備管理について

- 関係機関と連携し、施設・設備の修繕を適宜行うことができた。老朽化の兆しが見えるだけに、迅速な対応に助かっている。教材園、花壇等の管理も適切に行うことができた
- 教材室備品を使った後は必ず戻すことを徹底し、全職員が使いやすい運用を心掛ける
- 備品、設備修繕等要望事項に係る集約方法に改善の余地がある。必要度が高いものを日頃よりリストアップするなど、来年度は一工夫したい

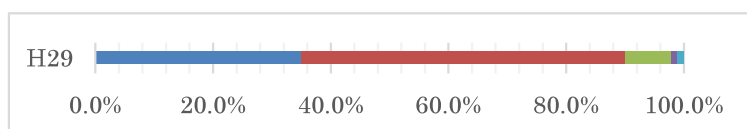
## Ⅱ 保護者・児童アンケートの結果と分析について

### ◆旭小学校の教育目標に関する事項

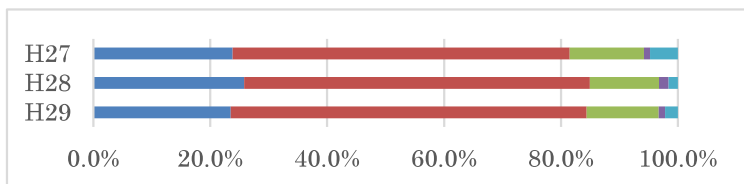
#### 教育目標①＜進んで学習する子ども＞

【保護者】 A そう思う B 少しそう思う C あまりそう思わない D そう思わない E よくわからない

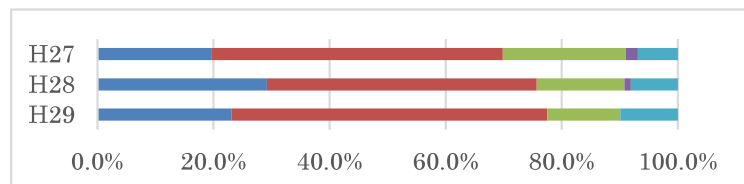
#### 1. 子どもは宿題や家庭学習に取り組む習慣を身につけている



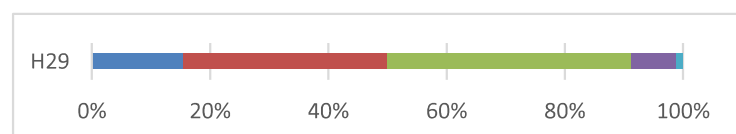
#### 2. 「読み・書き・計算」などの基本的な力がついてきていると思う。



#### 3. 子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。



#### 4. 子どもは、読書に親しみ、読書習慣を身につけている

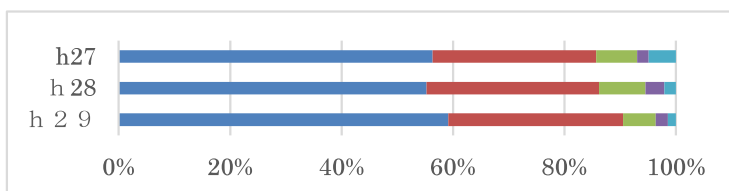


#### 【分 析 ・ 改 善 点】

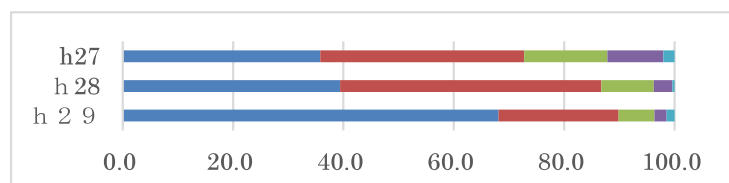
- ・ 9 割の児童が宿題や家庭学習に取り組む習慣を身につけている。定着が進んでいる。
- ・ 今年度は、114 名の児童が放課後サポート学習に申請し、宿題や課題に取り組んだ。分からない問題を学校で終えてくるため、家庭で「分からない」と悩むことも減り、児童、保護者双方にとって効果を発揮した。
- ・ 基礎的な学力が定着している、とみる保護者は 84%。授業が分かりやすい、という保護者も約 8 割。相関関係にあるものと考えられる。「できる分かる授業づくり」と「定着を促す取組」の継続・充実が重要である。
- ・ 読書に親しんでいる児童は、家庭において約半数。学力形成や情操教育、生涯にわたる趣味の形成など読書の効用を考えると、読書習慣づくりを保護者・地域・学校でより充実させていくことが、重要である。

## 【児 童】

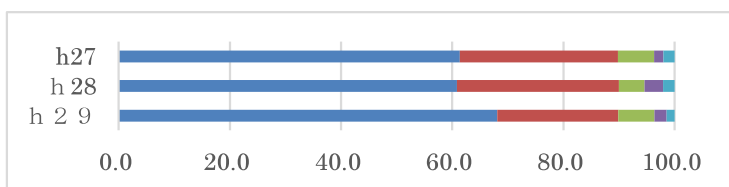
### 7. 学校の授業はわかりやすい。



### 8. 授業中、自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりした。



### 9. わからないことがあった時には、先生や友だちに聞くことができる。



#### 【分 析・改善点】

- ・授業が分かりやすいと答える児童が **90.5%** と、数年来目標としていた **9割** に届いた。保護者アンケート結果からも伸びが見て取れる。ユニバーサルデザインに基づく分かりやすい授業づくりに一定の成果が見られた。
- ・グループ学習を積極的に取り入れ、考えを伝えあう機会を意図的に設けてきた。分からないことを聞くことができる児童が増加した要因にもなっている。
- ・分からないことを気兼ねなく聞くことのできる児童も、伝えあえる児童の増加に比例して伸びている。分かりやすい授業づくりのため、導入してきたグループ学習は、不明な点を仲間聞くことのできる時間にもなっている。グループ学習の効果が大きいと考え、来年度の教育活動に生かしていきたい。

#### 保護者意見（○評価 ●要望）

##### 学級経営・学習指導に関わって

- 授業内容と集団生活のルールへの定着など、きめ細やかな先生方の指導（複数）
- 落ち着いて穏やかに見える子どもたち
- 親が見つけられない我が子の良さを見出してくれた先生
- 学校を休んでも、遅れた学習をきちんと教えてくれる先生
- 「学校は楽しい」と子どもが話してくれること。先生方の指導に感謝（複数）
- 「お話をやめて」「手は膝に」といった、1学年の躰の積み重ね
- 放課後サポート。宿題のつまづきが少なくなった。子ども、保護者双方のストレスが減った（複数）
- 学級減によりクラス人数が増えたが、多様な友達ができ、コミュニケーション能力も増した（複数）
- 学年に応じた指導（低学年なら私語を慎む指導、高学年なら背中を押してあげる指導など）
- 中学校入学前の復習指導
- 子どもに対する丁寧な言葉遣い。一部、言葉が乱暴な先生が見受けられる
- 食事マナーの指導
- スキーとスケートの実施をどちらか一つに
- 低学年のうちは、できれば2クラスにしてほしい



来年度に向けて

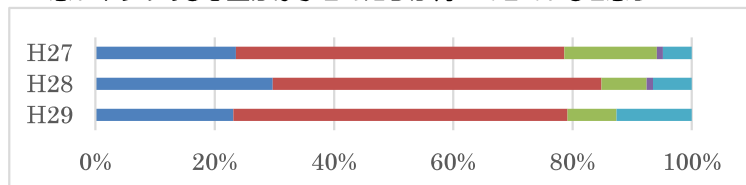
- ・学年の指導重点を念頭に置き、適切な言葉と温かな目線で指導に努めていく。
- ・今年度同様、6年の最後には、復習時間をとる。中学以降は家庭学習、特に予習が必須となる。家で予習して授業で復習する…という学習サイクルをつくることが重要となる。その意味で、小中の連携や家庭との協力が重要である。

- ・食事マナーは、学級でも繰り返し指導してきた。今後も継続指導する。また、躾の指導は、家庭の影響が大きい。家庭での指導をサポートする手立てを PTA で考えられるとよい。
- ・冬季スポーツは、活動量の減る冬の北海道において、非常に貴重。成長期に向けた発達刺激になるだけでなく、高齢になっても屋外で運動する契機にもある。授業時数の確保が難しく、実施面の苦労は学校にもあるが、上記の意義に加えて冬季スポーツ学習に対する町の厚い支援（リンク造成業者・外部講師の措置・リフト代金免除）もある。有意義な学びとなるよう進めていきたいと考えている。経済面を中心に家庭にも苦労をかける案件ではあるが、ご協力をお願いしたい。

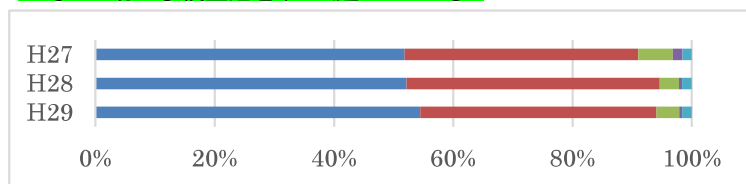
## 教育目標②＜思いやりのある子ども＞

【保護者】 A そう思う B 少しそう思う C あまりそう思わない D そう思わない E よくわからない

### 5. 思いやりのある心豊かな子どもたちが育ってきていると思う。

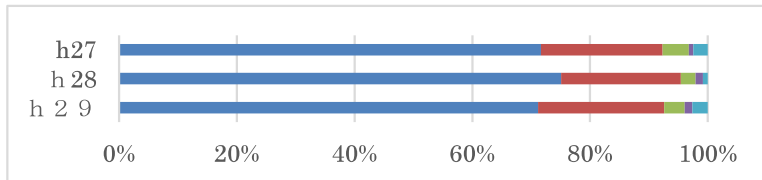


### 6. 子どもは、学校生活を楽しみ通している。

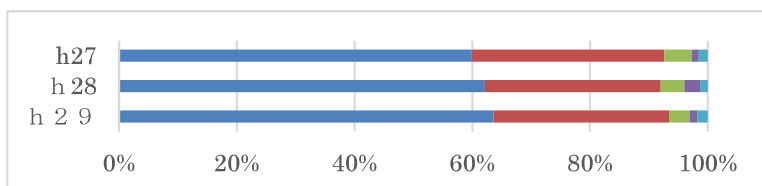


【児童】

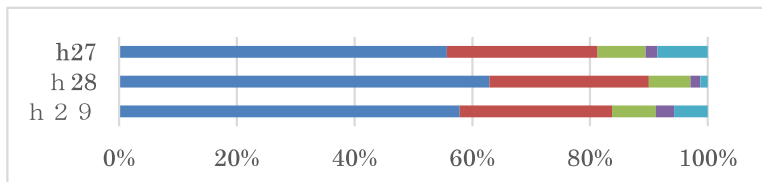
### 1. 友だちとなかよく遊べて、毎日が楽しい。



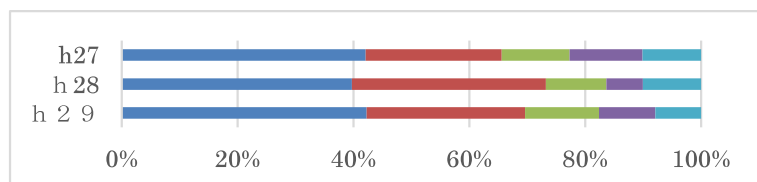
### 3. 友だちを大切にして、助け合っている。



### 4. 失敗した時は、先生や友だちが助けてくれる。



### 19. 自分には、よいところがあると思う。



## 【分 析・改善点】

- ・80%の保護者が、「思いやりある子が育っている」と回答。93%の児童が、「友達と助け合っている」と回答した。概ね、他者とよき関係を築こうという気持ちで生活している様子が分かる。
- ・「思いやりが育っているとあまり思わない」と回答した保護者数は2年前から半減した。目的と正対した行事指導、個に応じたきめ細かな生徒指導、互いの考えを伝えあう授業づくりの積み重ねなどが奏功したと考える。来年度の教育活動でも継続していきたい。
- ・自己肯定感をもっている児童は、28年度63%から29年度70%へと微増した。学校生活全体を見つめ直し、指導の改善を図っていく。
- ・自他の良さを認め合う授業づくり、生徒指導の充実が、思いやりを育む柱となる。学級経営力を向上させるためにも、相互の学び合い、優れた実践から研修する機会を充実させていきたい。
- ・Q Uなど児童の人間関係を統計処理した客観的データを活用する。また、月例で実施しているサポート会議が、情報の共有・相談の場として有効に機能した。来年度も大切にしていく。

保護者意見（○評価 ●要望）

内面の育ちに関わって

- 人間関係の広がり、仲良く遊ぶ力、協力性、意思表示や相談する力（複数）
- 相手を思いやり、自分の気持ちを抑える力（複数）
- 友達のよいところを見出す力。自己中心性の減少
- 素直さの伸長（注意された時は素直に「ごめんなさい」）
- 自分勝手を言わない心の広さ
- 思春期ならではの言動
  - ・学校のことについて、あまり話してくれない
  - ・女子の気持ちの上がり下がり、導火線の短さ



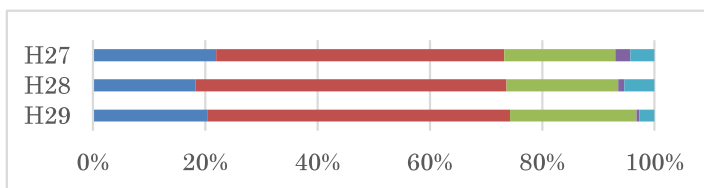
来年度に向けて

- ・道徳教育を学校教育の要とし、全ての教育活動を通じて児童の心の育ちを促し、サポートする。
- ・日々の授業において指導した内容については、必ず評価をして児童に伝えるようにする。そして、児童が頭、心、体の成長を自覚し、自分を肯定して明日の学習に臨めるよう支援する。
- ・思春期は、児童本人・家庭・学校いずれにおいても悩み多きものだが、健全に成長している証でもある。児童が様々な葛藤や悩みを抱える時に心の内を開けるよう、学校と家庭が連携して支えていきたい。

### 教育目標③＜進んではたらく子ども＞

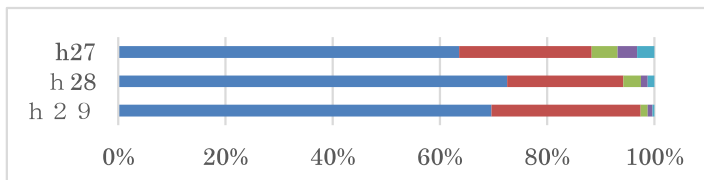
【保護者】 A そう思う B 少しそう思う C あまりそう思わない D そう思わない E よくわからない

7. 自ら進んではたらく子どもたちに育ってきていると思う。

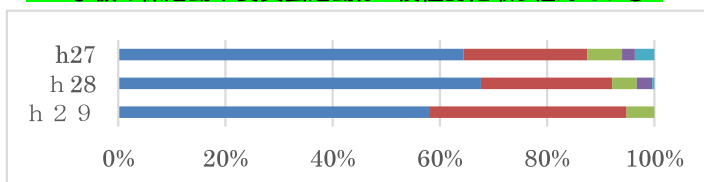


【児童】

11. 掃除は、友だちと力を合わせて、きれいにできている。



12. 学級の係活動や委員会活動は、積極的に取り組んでいる。



【分析・改善点】

- ・児童は 95%が、係活動や清掃活動などに進んで取り組んでいると回答。主体的に活動する姿が、実際に見られる。
- ・清掃に限らず、自ら進んではたらくことが成果となって表れる場を意図的に設けていきたい。学級の係活動、総合の学習や学活、運動会や学芸会などの係活動など、はたらく意義を児童に体感させる場を有効に活用したい。
- ・今後、外国語学習の時間が増加する。その授業時間数を確保するため、授業外にあたる清掃時間や委員会活動などの時間を教育活動にどの程度位置づけるのか、検討が必要となる。これらの活動を通して成長する側面もあるため、多角的に検討を進める。
- ・保護者アンケートでは、進んではたらく児童の割合は 74%と若干低めに出ている。家族の一員として進んではたらいてくれない…そんな思いをもつ親もいると考え、家庭科学習等で連携を図っていきたい。

保護者意見（○評価 ●要望）

- 帰宅後の学校の準備。しっかり行えるようになった。（複数）
- 自分のことは自分行うことで、忘れ物も減ってきた（複数）
- 身の回りの整理整頓、家の手伝い、買い物、挨拶など（複数）
- 積極性がでてきた（複数）
- 留守番をしたり、「明日は～する」と自分で決めてくれるようになった（複数）



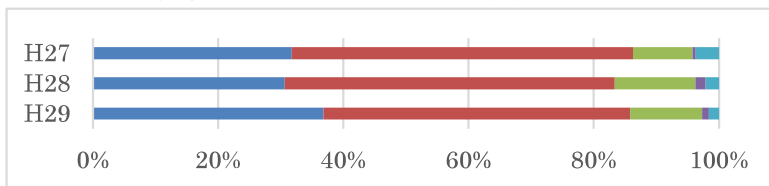
来年度に向けて

・まずは自分の身の回りのことから習慣づけること。それが結果につながって（忘れものが減る）、認められる（ほめられる）、自信がつく（自分もできる）。そして、「自分から～をしたい」という積極性、主体性が花開く。今回、家庭から届いたこれらの声は、子どもにやる気をもたせるためには、一定の正しい道筋があることを示している。学校・家庭双方の参考にできればよいと考える。

## 教育目標④＜自ら体をきたえる子ども＞

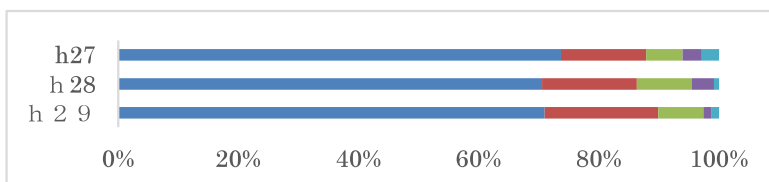
【保護者】 A そう思う B 少しそう思う C あまりそう思わない D そう思わない E よくわからない

### 8. 子どもは健康に気を配り、運動や遊びに興味をもっている。



【児童】

### 20. 友だちと元気に遊んだり、運動に親しんだりしている。



保護者意見（○評価 ●要望）

○運動能力の成長

○自転車や縄跳びなど、新たな技能の獲得

### 【分 析・改善点】

・保護者の 84%、児童の 90%が、運動や健康増進に関わる取組に関心もち、学習や生活をしている。

・少年団活動も活発である。学校でも縄跳び、遊び、冬季スポーツなど取組は活発である。

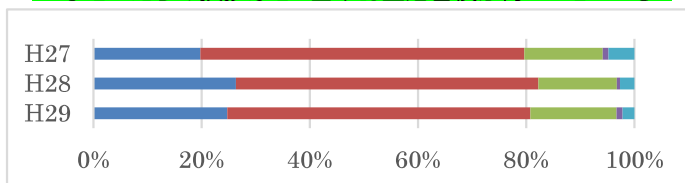
・改善点は、少数ながら関心の低い児童への興味、習慣づけをいかに図るか、という点である。切り口は、運動ではなく生活習慣全体にあるとみて、地域保護者と連携した取組を展開していきたい。

## その他の事項

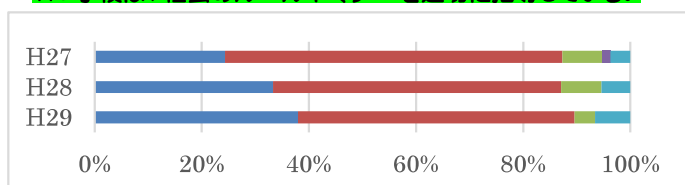
### ◆基本的な生活習慣の確立に関する事項

【保護者】 A そう思う B 少しそう思う C あまりそう思わない D そう思わない E よくわからない

### 9. 子どもたちの挨拶など、基本的な生活習慣が育ってきている。



### 17. 学校は、社会のルールやマナーを適切に指導している。



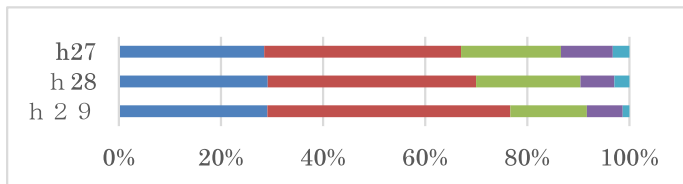
### 【分 析・改善点】

・挨拶をはじめとする基本的な生活習慣が定着しているという保護者回答は 81%。児童の回答からは、基本的な生活習慣に関する項目に進展がみられる。児童の回答にも、その傾向が表れている。

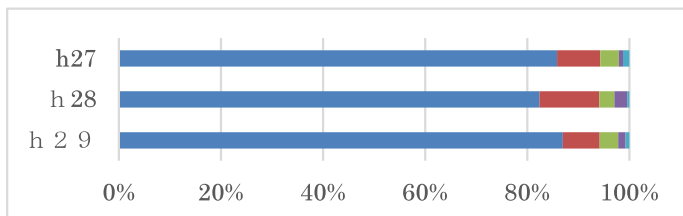
・来校者から「旭小児童の挨拶がすばらしい」と言葉を頂くことも多いが、全体のものになっているとは、もう一步言い切れない。生活習慣定着の切り口として扱いやすいことでもあり、今後も指導の重点としていく。

## 【児童】

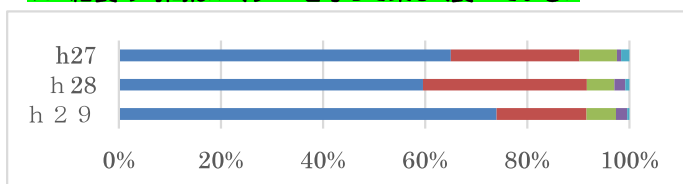
### 17. 忘れ物をしていない。



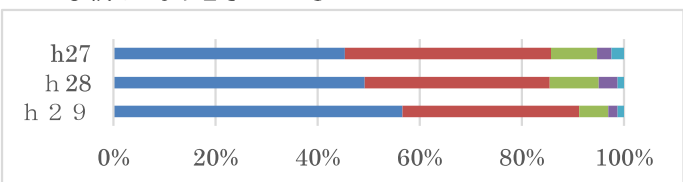
### 5. 朝ごはんを毎日食べている。



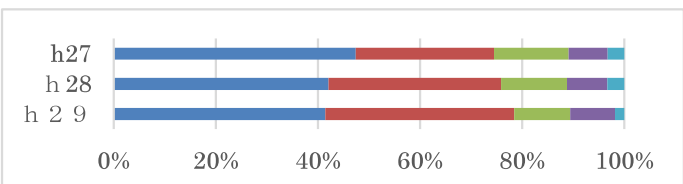
### 10. 給食の時間は、マナーを守って楽しく食べている。



### 15. 学校のきまりを守っている。



### 18. 夜ふかしせず、早寝早起きをしている。



## 【分 析・改善点】

・校内では、給食時の食事マナー、学習・生活時のきまりを守って生活する児童が多く、学校全体が落ち着いて教育活動に取り組むことができた。日々の生徒指導が機能していたことの証左でもあり、来年度も継続したい点である。

・家庭における生活習慣で検討が必要なのは、高学年の就寝時間である。全国的な問題であるが、スマホ、DVD、ゲーム機器を扱い過ごす時間の影響で就寝時刻が遅い高学年児童がいる実態がある。

## 保護者意見（○評価 ●要望）

- 今自分がすべきことを意識している。  
役割理解の進展（複数）
- 自ら動かなければ物事が進まないことを理解した
- 忍耐力がつき、できることは自分で努力（複数）
- 学校の準備を自分で。忘れ物の減少（複数）
- 身の回りの整理整頓、家の手伝い、買い物、挨拶などの習慣定着（複数）
- 食事マナーの家庭指導に苦勞、学校での指導に期待

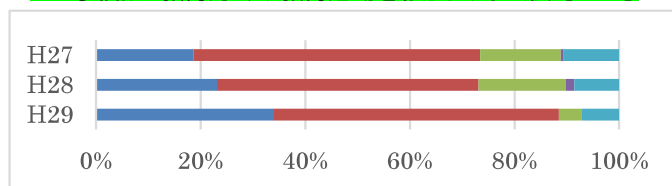
来年度に向けて

- ・スマホやゲーム機器、SNSなどは、小学校が使い始めとなる家庭が相当数ある。初期の段階で使い方、マナー、危険性、メリットやデメリットを教え、ルールを守って使用する習慣を身に付けさせていくことが大切である。学校においては、今年度高学年が実施したスマホ安全教室の他、各教科、参観日、懇談会、生活リズムチェックなど、手立てを講じていく。
- ・子育ては定規で線を引くようにスムーズにはいかないもの。学校・地域・保護者・関係各所の連携、支え合いで児童の育ちを見守るというスタンスを改めて共有して、教育活動を進めていきたい。

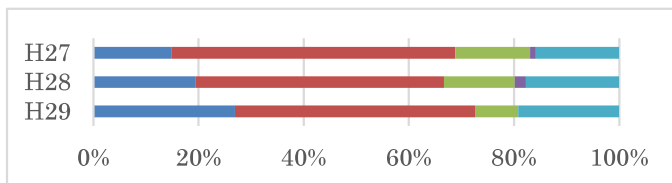
## ◆信頼される開かれた学校づくりに関する事項

【保護者】 A そう思う B 少しそう思う C あまりそう思わない D そう思わない E よくわからない

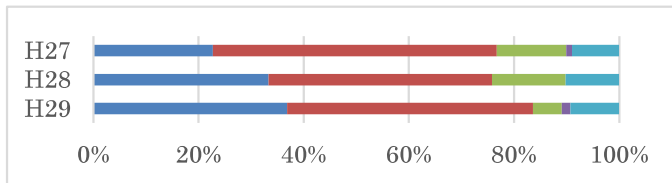
### 10. 学校は、教育方針や教育活動をわかりやすく伝えている。



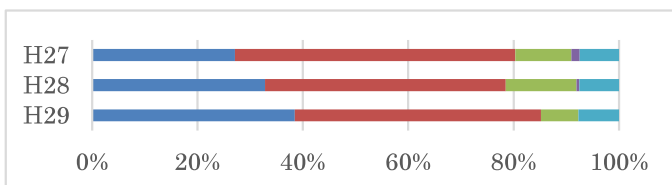
### 11. 学校は、保護者や地域の願いに応えている。



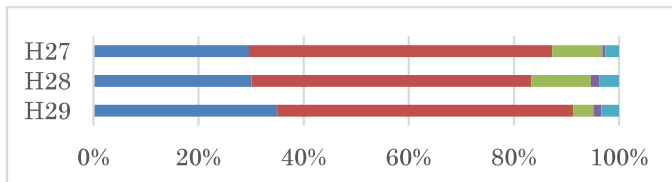
### 12. 子どものことを気軽に相談できる学校になっている。



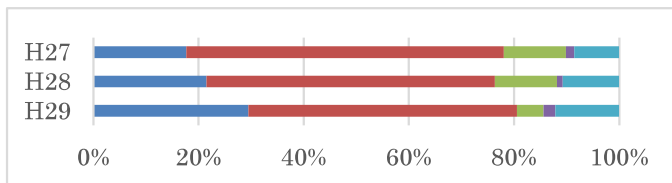
### 13. 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行うよう努めている。



### 14. 通知表は、子どもの努力のあとが保護者に分かるように工夫されている。



### 15. PTA活動等において、家庭と学校の協力関係が築かれている。



### 【分 析 ・ 改善点】

- ・学校の教育活動を伝える取組みは、保護者から高評価を得ている。ブログに対する評価が高い。
- ・欠席児童、学校で気になったことを各担任が家庭と密に連絡をとり、教育活動を進めた。「子どものことを気軽に相談できる」「家庭への連絡を積極的に行っている」といった項目が軒並み評価値を上げており、今年度の取組を継続する方向でよいとみている。
- ・PTA 活動各部員の決定法、部長への仕事の偏重など、見直しを求める声も一部あり、来年度に向けた検討点の一つとなる。

### 保護者意見（○評価 ●要望）

- 療育病院との密な連携、保護者への連絡による子どもの心の安定、成長の土台づくり
- 子どもの活動、様子が分かる学級通信、ブログ。帰宅後、学校の様子を聞くことができ、コミュニケーションの一助になる（複数）
- 子どもの成長を促す学級レクの実施（苦手野菜をおいしく料理するレク）
- 早めの持ち物連絡、児童名記載頻度
- 通知表を1～3学期で1枚に



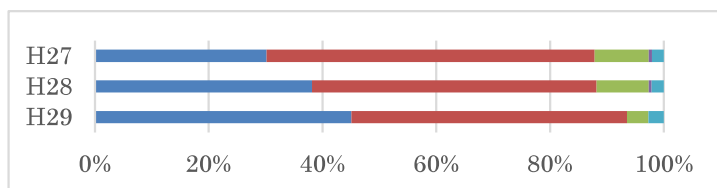
来年度に向けて

- ・今年度同様、職員間の連携、保護者や医療機関、関係機関との連携を密にとり、教育活動を進めていく。
- ・教育活動を充実させるための連絡、家庭への発信手段として学級通信やブログを活用する。
- ・通知表については、現状通り学期ごとの書式とする（文章で伝える欄を増やしており一枚にまとめるのが困難なため）。

## ◆学校行事に関する事項

### 【保護者】

#### 16. 運動会や学芸会をはじめとする各学校行事は、充実している。



#### 【分析・改善点】

- ・93%の保護者が、運動会や学芸会などの学校行事を評価している。行事を通して期待できる児童の伸びは大きく、学校としてもよい行事運営ができたと考える。
- ・時数確保が学校現場の深刻な課題である。外国語実施に伴う時数増を考え、練習時間の縮減、運動会や学芸会以外の行事の精選についても考えていく必要がある。

#### 保護者意見 (○評価 ●要望)

- 運動会の進行がスムーズ
- 親子競技がないこともあり、進行が早かった
- 日曜開催で行ってほしい
- 最後の学芸会。楽器練習で、担任の先生に時間をとってもらい、一緒に練習してもらったことに感謝している
- 運動会は土曜日で実施してほしい（複数）。
- 学芸会も土曜日にしてほしい
- 紅白分けは、クラス内で分けるのではなく、学年で振り分けできないか。  
クラスで団結して頑張れる、よい機会なため
- 前日の時点で100%雨の場合は、早めに延期の連絡を



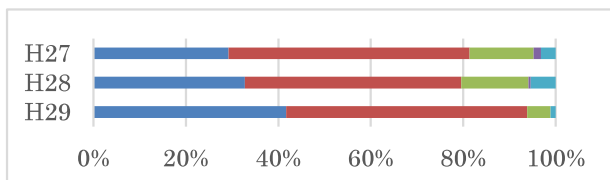
来年度に向けて

- ・今年度同様、児童の成長を期待して行事運営に努める
- ・雨天が予想される場合は前日段階での中止決定を含め、PTA 役員と協議の上、早めに決断する
- ・運動会の土曜実施を望む声が多いことを踏まえ、検討を進めていく

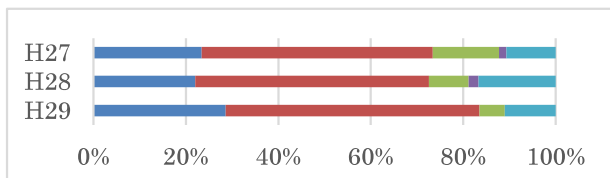
## ◆教育環境に関する事項

### 【保護者】 A そう思う B 少しそう思う C あまりそう思わない D そう思わない E よくわからない

#### 18. 校内はいつも整理されていて、きれいである。



#### 19. 学校は事故やいじめ防止、安全確保に努めている。



#### 【分析・改善策】

- ・児童は大変しっかりと清掃に取り組んでいる。教職員も共に清掃の場に加わり、丁寧に指導している。冬休みに業者清掃が入り、校舎も明るさを増した。来年度も今年度同様、整理整頓・丁寧な校舎、物品利用を進めていく。
- ・避難訓練、安全指導、いじめ問題への対応に努めてきた。命は一つしかないもの。「これでよい」という指導、対策はないので、常に改善の視点をもって次年度に臨みたい。

保護者意見（○評価 ●要望）

- 1 学級になりクラス人数が増えたが、多様な友達ができ、コミュニケーション能力が以前よりついていた。毎日楽しく通っていて安心している（複数）
- 空き教室が増えたので、何かに活用できるとよい（他学年との給食など）（複数）
- 低学年のうちは、人数が少なくても2クラスでお願いしたい



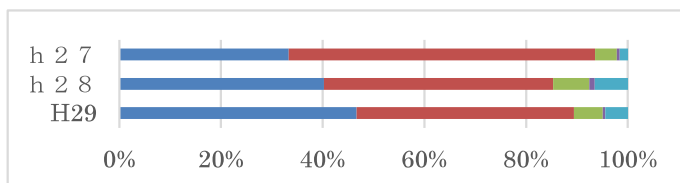
来年度に向けて

- ・一人一人の学習、生活の様子を複数の教師でみとり、月例で会議を開催し、翌月の支援策を講じている。良好なクラス環境を築き、楽しく通学できる環境づくりのため、チームワークよく教育活動を進めていく。
- ・空き教室は、少人数学習教室として主に使用している（算数や国語の時は、教室を2つに分けて、一方は自分の教室、他方は空き教室で学習）。その他、図工の作品展示コーナー、グループ作業時に使用している。様々な活用法が考えられるので、柔軟に考えて活用を図りたい。

◆教職員に関する事項

【保護者】 A そう思う B 少しそう思う C あまりそう思わない D そう思わない E よくわからない

20. 学校は電話の対応や接遇マナーに努めている。

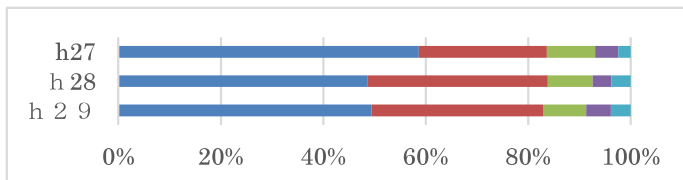


【分 析】

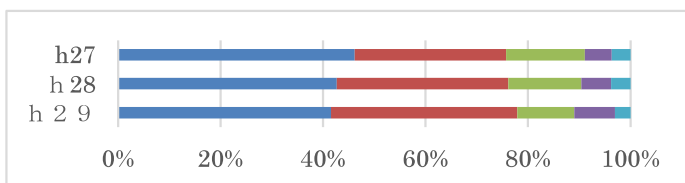
- ・接遇マナーについて、89%の保護者が対応を評価している。丁寧な対応を今後も心がけたい。
- ・およそ5人に1人の児童が、困った時に先生に気軽に話しぶらいと回答している。教師側から積極的に話しかけること、相談機会を設定するなど、手立てを考える余地がある。
- ・「ほめること」が「やる気」に結びついていると考える児童は83%。内発的な動機付けを図ることが重要となる。

【児 童】

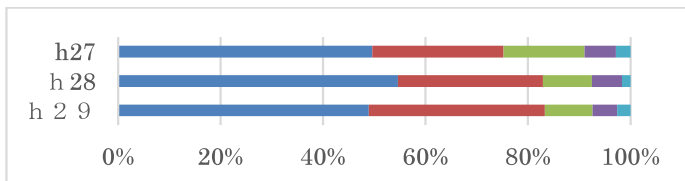
13. 自分が頑張っていることをみとめてもらえて、やる気が出る。



14. 困ったことがあった時は、先生に気軽に話をする事ができる。



16. 担任の先生以外ともよく話をする。



保護者意見（○評価 ●要望）

- 先生のきちんとした対応（複数）
- 担任の先生、校長先生、教頭先生、関わった先生方子どもへの温かさ、優しい見守り（複数）
- 担任をもたない先生も、聞かれたことにきちんと対応を



来年度に向けて

- ・保護者はじめ学校と関わる人との丁寧な対応を、引き続き心掛ける
- ・児童は可能性の象徴。温かく見守り、期待を込めて接していく
- ・課題設定が妥当か、課題の困難度と称賛の在り方がマッチしているかなど、意欲を喚起する学習指導、生徒指導を推進する
- ・児童への積極的な言葉がけ、相談週間など、困りごとを気軽に話せる関係づくりを進める

### III 学校関係者評価について

#### 1、学校運営について

- 職員が協力し合い、教育目標の実現に向けて取り組んでいるのが分かる。保護者・地域の願いを受け、校長のリーダーシップのもと教育活動を展開してほしい。また、評議員としても、自身が持つ人的ネットワーク活用して、学校運営のプラスになるよう貢献していきたい。
- 運動会の開催曜日については、児童の側に立って考え、多方面と協議しながら合意形成を図っていく必要がある。

#### 2、学習指導について

- 一生を生きる上でも体力や生活習慣、基礎学力は重要である。保護者や地域と連携して課題解決に当たってほしい。

#### 3、生徒指導について

- 子どもの明るい声が聞える学校が一番。いじめ問題などには、迅速な課題解決をお願いしたい。